

NYマーケットレポート (2015年4月13日)

NY市場では、浜田宏一内閣官房参与がTV番組で「購買力平価からすると120円はかなり円安であり、105円ぐらいが妥当」と発言したことから、ドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。そして、この発言が海外に配信されてから円買いが加速し、円は大半の主要通貨に対して上昇する動きとなった。特に、ユーロ/円は2013年6月以来、ポンド/円は2014年10月以来の安値を付ける動きとなった。そして、取引材料に乏しい中、堅調な株価動向を受けて、値を戻す動きとなったものの、その後株価が下げに転じ、引けにかけて下げ幅を拡大する動きとなったことから、ドル円・クロス円は上値の重い展開が続いた。

## 2015/4/13 (月)

| TOKYO   | 東京終値   | 東京高値   | 東京安値   |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 120.63 | 120.65 | 120.10 |
| EUR/JPY | 127.44 | 127.83 | 127.37 |
| GBP/JPY | 176.15 | 176.28 | 175.47 |
| AUD/JPY | 91.30  | 92.36  | 91.29  |
| EUR/USD | 1.0566 | 1.0620 | 1.0561 |

| LONDON  | LD高値   | LD安値   |
|---------|--------|--------|
| USD/JPY | 120.85 | 120.54 |
| EUR/JPY | 127.65 | 126.98 |
| GBP/JPY | 176.54 | 175.94 |
| AUD/JPY | 91.54  | 91.22  |
| EUR/USD | 1.0576 | 1.0521 |

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

| アジア主要株価     | 終値       | 前日比     |
|-------------|----------|---------|
| 日経平均        | 19905.46 | -2.17   |
| ハンセン指数      | 28016.34 | +743.95 |
| 上海総合        | 4121.71  | +87.41  |
| 韓国総合指数      | 2098.92  | +11.16  |
| 豪ASX200     | 5960.27  | -8.10   |
| インドSENSEX指数 | 29044.44 | +165.06 |
| シンガポールST指数  | 3484.39  | +12.01  |

| 欧州主要株価      | 終値       | 前日比     |
|-------------|----------|---------|
| 英FT100      | 7064.30  | -25.47  |
| 仏CAC40      | 5254.12  | +13.66  |
| 独DAX        | 12336.73 | -36.00  |
| ST欧州600     | 413.63   | +0.77   |
| 西IBX35指数    | 11866.40 | +117.10 |
| 伊FTSE MIB指数 | 24008.91 | +131.66 |
| 南ア 全株指数     | 53589.31 | +168.53 |

| NEW YORK | NY終値   | NY高値   | NY安値   |
|----------|--------|--------|--------|
| USD/JPY  | 120.10 | 120.58 | 119.73 |
| EUR/JPY  | 126.99 | 127.44 | 126.52 |
| GBP/JPY  | 176.28 | 176.51 | 175.34 |
| AUD/JPY  | 91.19  | 91.42  | 90.89  |
| NZD/JPY  | 89.58  | 89.69  | 89.13  |
| EUR/USD  | 1.0575 | 1.0610 | 1.0541 |
| AUD/USD  | 0.7594 | 0.7599 | 0.7559 |

| 米主要株価     | 終値       | 前日比     |
|-----------|----------|---------|
| 米ダウ平均     | 17977.04 | -80.61  |
| S&P500    | 2092.43  | -9.63   |
| NASDAQ    | 4988.25  | -7.73   |
| その他主要株    | 終値       | 前日比     |
| 🇨🇦 トロント総合 | 15383.59 | +112.55 |
| 🇧🇷 ボルサ指数  | 44994.56 | +112.55 |
| 🇲🇽 ボベスパ指数 | 54239.77 | 25.66   |

### 4/14 経済指標スケジュール

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 08:01 | 【英】3月BRC小売売上高     |
| 09:00 | 【シンガポール】1Q GDP    |
| 10:30 | 【豪】3月NAB企業信頼感指数   |
| 10:30 | 【豪】3月NAB企業景況感指数   |
| 15:00 | 【独】3月卸売物価指数       |
| 16:30 | 【スウェーデン】3月消費者物価指数 |
| 17:30 | 【英】3月生産者出荷価格      |
| 17:30 | 【英】3月消費者物価指数      |
| 17:30 | 【英】3月小売物価指数       |
| 17:30 | 【英】2月ONS住宅価格      |
| 18:00 | 【欧】2月鉱工業生産        |
| 21:30 | 【カナダ】3月住宅価格指数     |
| 21:30 | 【米】3月生産者物価指数      |
| 21:30 | 【米】3月小売売上高        |
| 22:00 | 【米】3月NFIB中小企業楽観指数 |
| 23:00 | 【米】2月企業在庫         |

| コモディティ  | 終値      | 前日比   |
|---------|---------|-------|
| NY GOLD | 1199.30 | -5.30 |
| NY 原油   | 51.91   | +0.27 |
| CMEコーン  | 378.00  | -6.75 |
| CBOT 大豆 | 948.75  | -2.75 |

| 米国債利回り | 本日    | 前日    |
|--------|-------|-------|
| 2年債    | 0.53% | 0.56% |
| 3年債    | 0.89% | 0.92% |
| 5年債    | 1.37% | 1.40% |
| 7年債    | 1.70% | 1.73% |
| 10年債   | 1.93% | 1.95% |
| 30年債   | 2.58% | 2.58% |

### 4/14 主要会議・講演・その他予定

・ミネアポリス連銀総裁 討論会

(出所:SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 120.57 ユーロ/円 127.09 ユーロ/ドル 1.0543

21:00

欧州株式市場

| 米主要株    | 株価       | 前日比    |
|---------|----------|--------|
| 英 FT100 | 7052.67  | -37.10 |
| 仏 CAC40 | 5239.34  | -1.12  |
| 独 DAX   | 12362.76 | -11.97 |

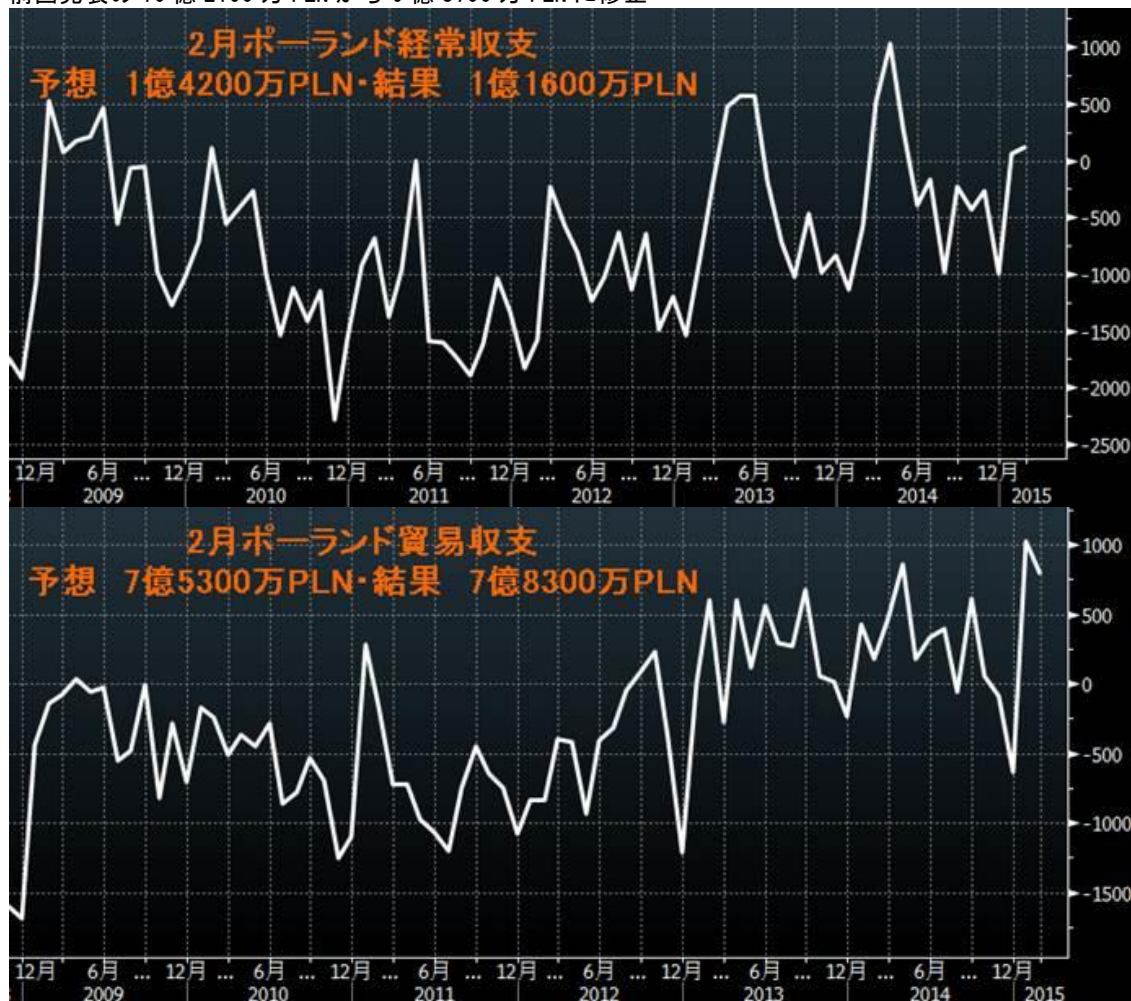
(出所:SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月ポーランド経常収支 1億1600万 PLN (予想 1億4200万 PLN・前回 3700万 PLN)  
 前回発表の5600万 PLNから3700万 PLNに修正

2月ポーランド貿易収支 7億8300万 PLN (予想 7億5300万 PLN・前回 9億3700万 PLN)  
 前回発表の10億2100万 PLNから9億3700万 PLNに修正



(出所:ブルームバーグ)

21 : 25

《 要人発言 》

浜田宏一・内閣官房参与～BSTV で

- ・「株価高くなると消費も増えていく」
- ・「雇用の指標はよくなっている」
- ・「日銀の金融政策はうまく働いている」
- ・「購買力平価からすると 120 円はかなり円安」
- ・「輸出企業の収益は増加、輸入企業は損を出している」
- ・「購買力平価からすると 105 円ぐらいが妥当」
- ・「アベノミクスが救世的役割」
- ・「為替誘導は、日本以外はみんなやっていた」
- ・「物価目標 2%にこだわる必要はない」
- ・「物価目標を無理に 2%に持っていく必要はない」
- ・「コアコア CPI を 1%程度に」
- ・「資金は回り始めている」



(出所: ネットダニア)

22 : 33

米主要株価

| 米主要株  | 株価       | 前日比   |
|-------|----------|-------|
| ダウ平均  | 5004.46  | +8.48 |
| ナスダック | 18059.72 | +2.07 |

(出所: SBILM)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、新規材料に乏しい中、本格化する米大手企業の 2015 年 1-3 月期決算発表への期待感から、主要株価は堅調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなっており、一時前週末比で 49 ドル高まで上昇している。

《海外の話題》

来年 11 月の米大統領選に向け、民主党のヒラリー・クリントン前国務長官（67）がビデオメッセージなどを通じて立候補を表明した。圧倒的な知名度と資金力を誇る党内の最有力候補で、女性初の大統領を目指す。民主党内では、クリントン氏が初の立候補表明となる。

メッセージでは「私も準備ができている。大統領選に立候補します」と宣言。中間層の経済的安定を重視する考えを示し、「米国人は厳しい経済状態から復活しようと戦ってきたが、まだトップの人たちに有利な状況だ。どの米国人も擁護者を必要としている。私はその擁護者になりたい」と支持を呼びかけた。

2008 年の大統領選では民主党の指争いでオバマ大統領に敗北。その後オバマ政権で国務長官を務めた。民主党内では、世論調査でクリントン氏が 6 割前後の支持を集めている。

| 欧州主要株価           | 終値       | 前日比     |
|------------------|----------|---------|
| 英 FT100          | 7064.30  | -25.47  |
| 仏 CAC40          | 5254.12  | +13.66  |
| 独 DAX            | 12336.73 | -36.00  |
| ストック欧州 600 指数    | 413.63   | +0.70   |
| ユーロファースト 300 指数  | 1647.14  | +1.89   |
| スペイン IBEX35 指数   | 11866.40 | +117.10 |
| イタリア FTSE MIB 指数 | 24008.91 | +131.66 |
| 南ア アフリカ全株指数      | 53589.31 | +168.53 |

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、軟調な中国の貿易統計で投資家のリスク回避姿勢が強まり、主要株価は売りが優勢となった。英 FT100 と独 DAX は先週末に最高値を更新しており、利益確定の動きも出ていた。ただ、仏 CAC40 は、プラス圏に値を戻し小幅高で引けた。



(出所: ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 18076.07 (+18.42) 、S&P500 2105.13 (+3.07) ナスダック 5019.78 (+23.80)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、新規材料に乏しい中、週内に予定される小売上高や消費者物価指数など主要な米経済指標の発表を前にポジション調整の動きからもみ合いの展開となった。

午前の利回りは、30年債が2.59%（前週末2.58%）、10年債が1.59%（1.95%）、7年債が1.73%（1.73%）、5年債が1.39%（1.40%）、3年債が0.90%（0.91%）、2年債が0.55%（0.56%）。

《 欧州のポイント 》

①スウェーデン中銀のインゲベス総裁は、ECBの量的緩和が通貨クローナ相場に及ぼす影響を懸念していると表明した。総裁は、「ECBは非常に拡張的な金融政策を実施している」と指摘。「クローナ相場が強くなり過ぎ、輸入価格を押し下げることが望んでいない」と述べ、こうした状況によりスウェーデン中銀はマイナス金利を採用していると説明した。また「スウェーデンはユーロに加盟すべきとの見方は半数に届かない」と述べ、予見できる将来においてスウェーデンがユーロに加盟する可能性はないとの見解を示した。

②ギリシャ政府当局者は、ギリシャ政府は選挙を前倒して実施することを検討しているとの独紙の報道を否定した。ギリシャ政府内で一部、選挙実施に向けた考えが出ていると報道。これについて当局者は、現政権は国民の高い支持を得ているとしたうえで、政府は債務問題をめぐる債権団との交渉について「互恵的な解決法」を模索し続けると述べた。

③米大手金融は、ユーロ/ドル相場の予想を引き下げ、ユーロは年内に対ドルでパリティの水準まで下落するとの予想を明らかにした。ECBが数十億ユーロを金融システムに供給する中でユーロは引き続き軟調に推移するとみており、第4・四半期までには1ユーロ=0.98ドル台に下落すると予想した。当初予想は1.05ドルを見込んでいた。

2:30

米国格付け AAA 維持、見通しステーブル～欧州格付け会社

3:00

《 経済指標の結果 》

3月米財政収支 -529億USD（予想 -439億USD・前回 -369億USD）



3:30

NY金は、中心限月が前週末比5.30ドル安の1オンス=1199.30ドルで取引を終了した。

4:10

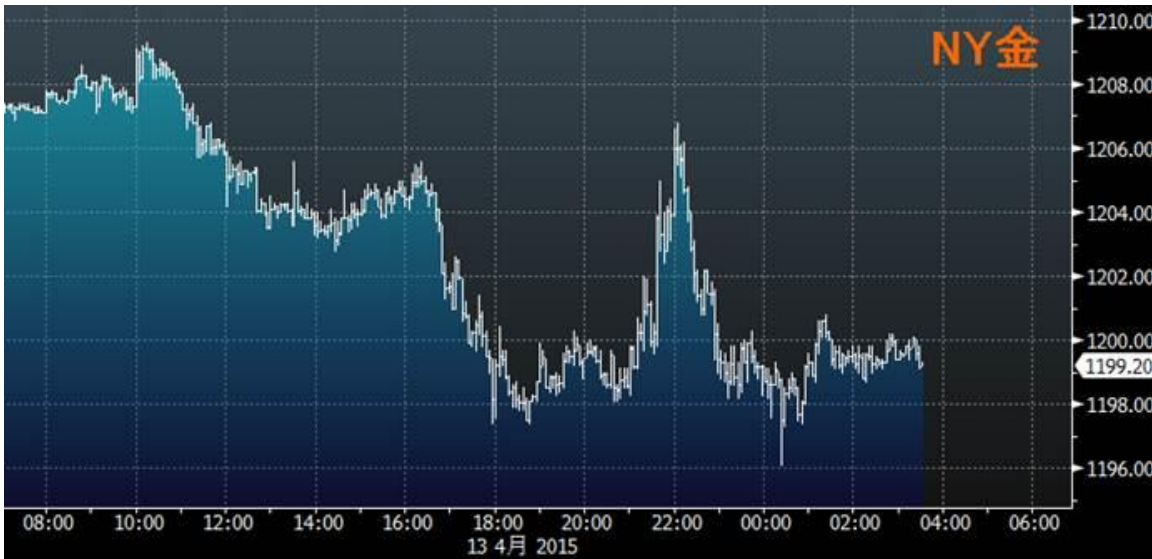
NY原油は、中心限月が前週末比0.27ドル高の1バレル=51.91ドルで取引を終了した。

| 主要商品    | 終値      | 前日比   |
|---------|---------|-------|
| NY GOLD | 1199.30 | -5.30 |
| NY 原油   | 51.91   | +0.27 |

(出所:SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

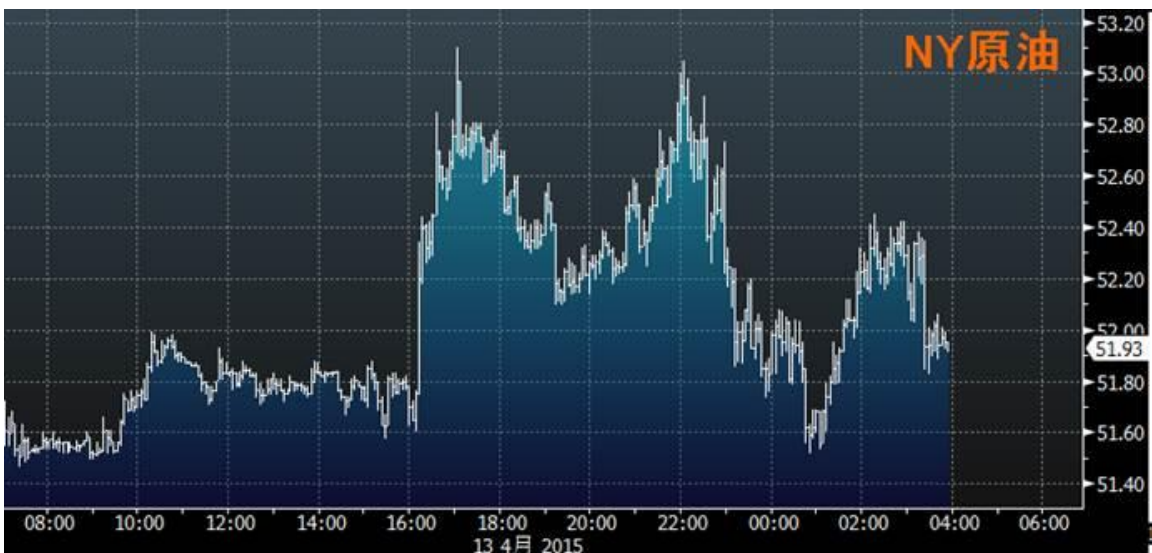
NY 金は、ドルがユーロなどに対して上昇したことから、ドルの代替資産とされる金を売る動きが優勢となった。また、米国の利上げが近づいているとの警戒感が根強いことも相場を圧迫した。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中国の3月の輸出入が振るわなかったことから、景気刺激策を打ち出し原油需要が増えるとの期待が高まり買いが先行した。また、イエメン情勢悪化を背景にした中東原油の供給不安も支援材料となった。ただ、引けにかけては利益確定売りも出て上げ幅を縮小した。



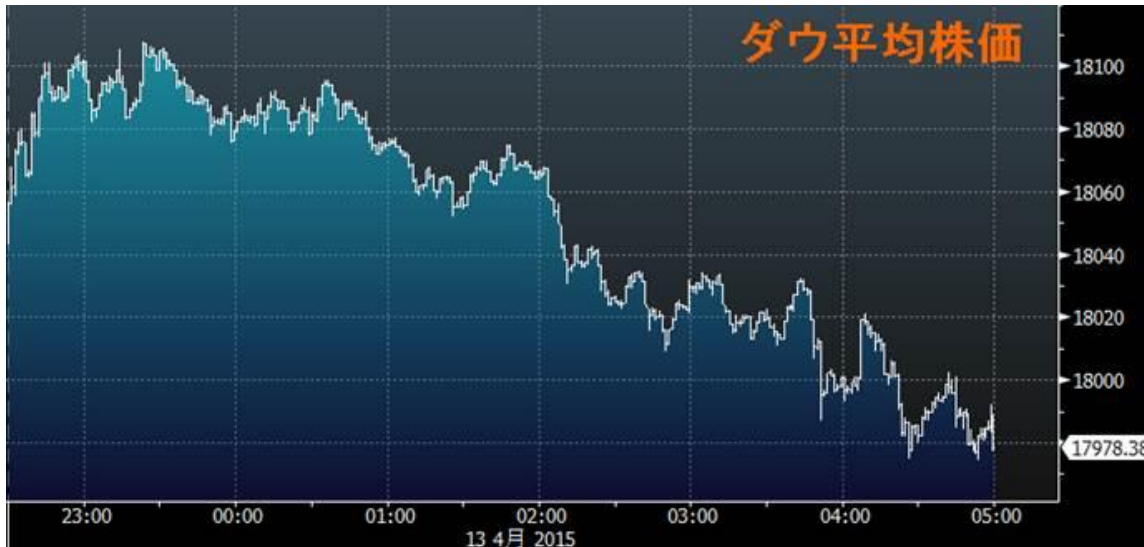
(出所:ブルームバーグ)

| 主要株価     | 終値       | 前日比    | 高値       | 安値       |
|----------|----------|--------|----------|----------|
| ダウ平均株価   | 17977.04 | -80.61 | 18107.57 | 17974.81 |
| S&P500 種 | 2092.43  | -9.63  | 2107.65  | 2092.33  |
| ナスダック    | 4988.25  | -7.73  | 5024.25  | 4985.96  |

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、新規材料に乏しい中、本格化する米大手企業の 2015 年 1-3 月期決算発表への期待感から、主要株価は堅調な動きが先行した。その後は、売りが優勢となりマイナス圏まで下げる動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比で 49 ドル高まで上昇する動きとなった。しかし、その後は売りに転じ、82 ドル安まで下げる動きとなった。



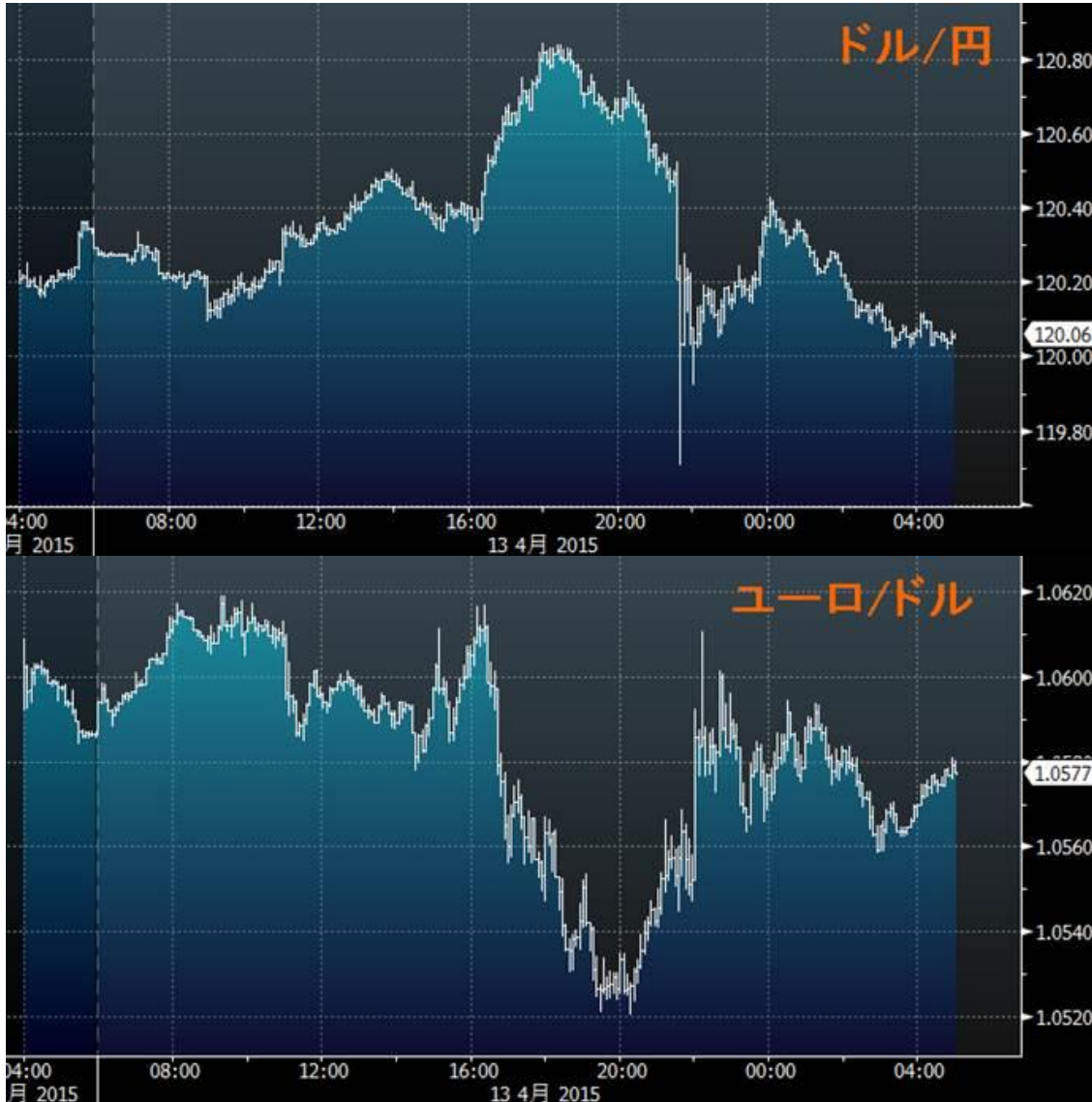
(出所:ブルームバーグ)

| 主要通貨    | NY 終値  | NY 高値  | NY 安値  |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 120.10 | 120.58 | 119.73 |
| EUR/JPY | 126.99 | 127.44 | 126.52 |
| GBP/JPY | 176.28 | 176.51 | 175.34 |
| AUD/JPY | 91.19  | 91.42  | 90.89  |
| NZD/JPY | 89.58  | 89.69  | 89.13  |
| EUR/USD | 1.0575 | 1.0610 | 1.0541 |
| AUD/USD | 0.7594 | 0.7599 | 0.7559 |

(出所:SBILM)

### 《外国為替市場》

外国為替市場は、浜田内閣官房参与がTV番組で、ドル/円は1ドル=105円位が妥当と発言したことを受けて、円が買われる動きとなり、ドル円・クロス円は序盤から下落する動きとなった。その後は値を戻す動きも見られたものの、堅調な展開で始まった米株価がマイナス圏まで下落する動きとなったことから、終盤には再び軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。